



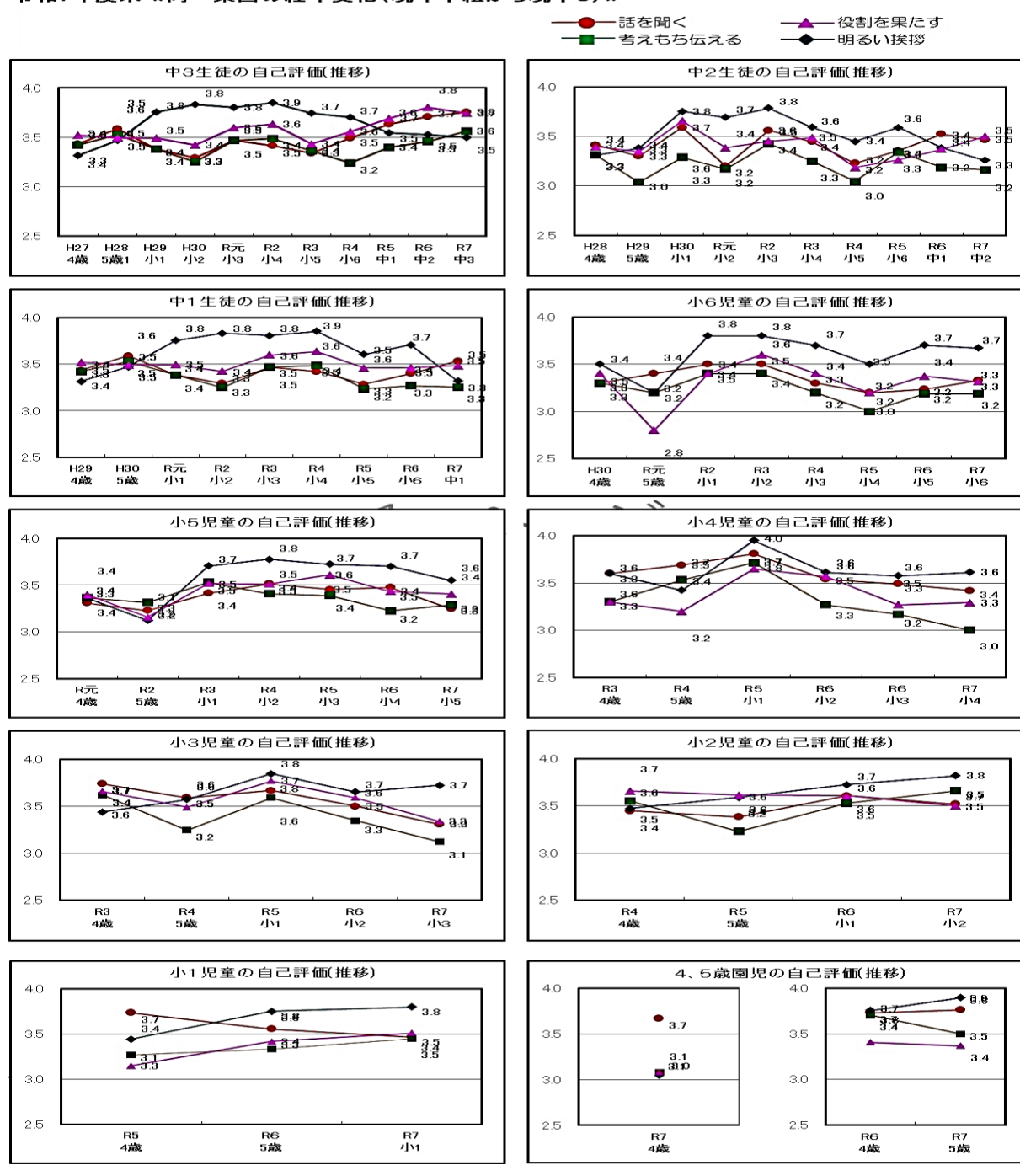
田上の12か年教育とキャリア教育

「4つの行動」の園児、児童、生徒の自己評価(R7年度田上の12か年教育アンケート結果より)

毎年「4つの行動」のアンケートを実施しています。以下は、年長組園児から中3生徒までの園児児童生徒の現学年まで自己評価(4段階評価)の変容です。

令和7年度末<同一集団の経年変化(現年中組から現中3)>

※4段階評価



「自分の役割を果たす」、「人の話を聞く」、は学年が上になるほど向上しています。「考えをもち伝える」ことへの評価は少しずつ改善していますが、どの学年も課題があります。「明るい挨拶」は若い学年の方が高いです。主体的、協働的な学びを更に進め、「間違っているんだ」「発表しようとする気持ちと意欲が大切なんだ」という学びに向かう自発性を育む中で、子どもの成功体験を支援していきます。



幼小中の連携と一体感のある経営と指導

1 齟齬の少ない一人一人の経営と指導に向けた努力

【自己有用感を育む】

- 友達との関係の中で、自分を価値あるものとして受け止める感覚
- 友達との関係の中で、自分は価値ある存在だという実感
- 友達から自分の行動や存在が認められていると感じる状況
- 友達に対して自分が役立つ行動をしていると感じる状況 等

【自尊感情を育む】

- 自分を価値あるものとする感覚
- 自分自身を好きだという気持ち
- 自分を大切に思える気持ち 等

【非認知能力を育む】

- 目標に向かって頑張る力
- 他人とうまくかわる力
- 感情をコントロールする力 等

【愛着関係を構築する】

- 他に対する基本的信頼感の育成

自己有用感

他との関係の中での
自分の価値の気付き

自尊感情

自分の力で困難を乗り越えたという成功体験

内発的動機付け

非認知能力

他者からの期待を受けることで、学習や仕事のパフォーマンスが向上する心理現象を「ピグマリオン効果」と呼ぶそうです。反対に、他者からの期待を感じないことで、学習や仕事のパフォーマンスが低下する心理現象が「ゴーレム効果」です。
「田上の12か年教育」は、「ピグマリオン効果」を自校化します。

【自己評価能力・態度(振り返り)が育つ】

- 知識・技能の定着
- 思考力・判断力・表現力の向上
- 学びに向かう力・人間性等の向上
- ◇次の学習への意欲
- ◇自己実現に向かう意欲、能力と態度
- ◇他とのよいかかわりを構築した経験

【達成感の感受】

- 解決できた実感
- 自分でできた。自分の力で分かった
- 友達に分かってもらえた喜び
- 発表したら、それを分かってもらえた

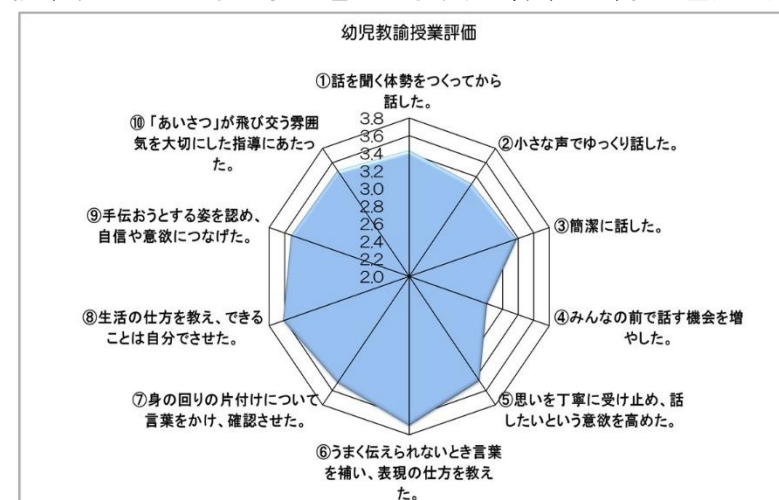
【内発的な動機付け】

- 「できなくていい」「どうせ分らない」ではなく、自分の力でやりぬこうとする意欲と態度。能力を身に付ける契機

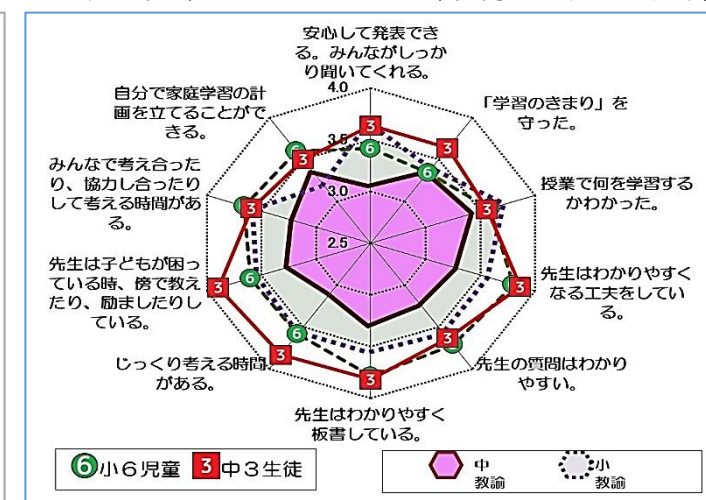
幼小中の経営と指導

- 「間違っている！」という園児児童生徒の積極性を大切にする。
- 園児児童生徒同士の「許容性」と「寛容性」を大切にする。
- 園児児童生徒の中から芽生える学習と生活の規律を大切にする。

2 授業改善をつくり出す共通の主な取組(令和7年度 園児・児童・生徒・教師への田上の12か年教育アンケート結果)



幼稚園は、園児の「表現への支援」と「生活の仕方への支援」に努めています。



児童生徒は、「わかりやすくなる工夫」「わかりやすい板書」に高い評価をしています。